

# 遅延価値割引と現実の試験勉強場面の学習行動の関係

## Delay Discounting and Preparation for an Exam

○ 吉田正寛\* ・ 青山謙二郎\*\*

Masanobu YOSHIDA and Kenjiro AOYAMA

(同志社大学大学院文学研究科\*・同志社大学文学部\*\*)

Department of Psychology, Doshisha University

key words: delay discounting, impulsivity, academic performance

### I. 目的

人は報酬の受取りに遅延が伴うことで、その報酬の主観的な価値を実際の価値よりも低く見積もる。こうした現象は遅延価値割引と呼ばれている。

遅延のある報酬の価値を低く見積もる人ほど、大学での成績が悪いということが示されている(Kirby, Winston & Santiestba., 2005)。遅延価値割引と勉強行動の関係を調べた先行研究(吉田・青山, 2006)では、遅延価値割引が激しいほど試験前日の勉強量が多くなることが示された。しかしこの結果は実験的に設定された試験勉強場面の結果であり、現実の試験対策の場合同様の結果が得られるのかどうかは不明である。そこで本研究では実際の試験に対する勉強時間を調査することで、実際の試験勉強場面でも遅延価値割引が前日の勉強時間に関与しているのかを検討した。

### II. 方法

**研究参加者** 大学生 58 名を用いた。参加者のうち、36 名(平均 19.5 歳、SD=0.6 歳)がすべての研究に参加した。

**手続き** 質問紙を用いて、遅延価値割引の測定を行った。「もし以下の条件でお金がもらえたとしたら左と右の選択肢でどちらが好ましいですか?」という文の下に「今すぐの 250 円 vs. 1 ヶ月後の 5000 円」という選択肢を呈示し、以降今すぐの選択肢の金額を 250 円刻みで 4850 円まで 19 段階設け、それぞれ 1 ヶ月後の 5000 円との選択を行った。ここまでは 1 枚の紙に印刷されており、2 枚目以降は 1 ヶ月の遅延をそれぞれ 6 ヶ月、1 年、5 年とした以外は同じ形式の選択肢を設けた。被験者はそれぞれの選択肢について好ましいほうを、マルをつけて選択した。

10 万円条件では「今すぐの 5000 円 vs. 1 ヶ月後の 10 万円」の形式で、今すぐの選択肢が 5000 円刻みで 9 万 5 千円までの 19 段階を設けた以外は 5000 円条件と同じ形式であった。遅延報酬の主観的価値は、選好の変化が見られた即時報酬の平均として算出した。例えば「今すぐの 4250 円 vs. 1 ヶ月後の 5000 円」では後者を選択し、今すぐの 4500 円との選択では前者を選択した場合、1 ヶ月後の 5000 円の主観的価値を 4375 円とした。割引曲線は、縦軸を主観的価値、横軸を最遅延期間としてプロットし作成した。遅延価値割引の程度は Myerson, Green, & Warusawitharana (2001) を元に、

割引曲線下の面積として算出した。面積が大きいほど価値割引が激しいことを意味する。

成績データの調査対象科目は心理学系専門授業であり、試験 2 週間前から当該科目の試験勉強に費やした時間を測定するための記録用紙を作成した。記録用紙には勉強を開始した時間と終了した時間が試験当日までの 2 週間で 1 日ごとに記録できるようにした。また当該授業の成績をデータとして用いた。成績に関しては個人情報保護の観点から授業担当者がデータを匿名化した後分析を行った。

### III. 結果

遅延価値割引と当該科目成績の間に有意な相関は見られなかった( $r=.000$ ,  $n=58$ ,  $ns$ )。また、2 週間の総勉強時間と遅延価値割引の間に有意な相関は見られなかった。

先行研究と同様に、配布日から試験当日までの 15 日間の 1 日ごとの学習時間を、価値割引の程度によって分けた 3 群で見たとところ Fig.1 に示すような結果が得られた。Fig.1 から遅延価値割引が激しい群が、試験前日である 14 日目の勉強時間が最も長くなる傾向が見られるが、有意な差は見られなかった。

### IV. 考察

実際の試験場面でも遅延価値割引が激しい人ほど前日の勉強時間が多くなるという仮説は支持されなかった。しかし、統計的に有意でなかったが実験室場面と類似した結果が見られたことから、測定方法の精度を上げ、更なる検討が必要であると考えられる。

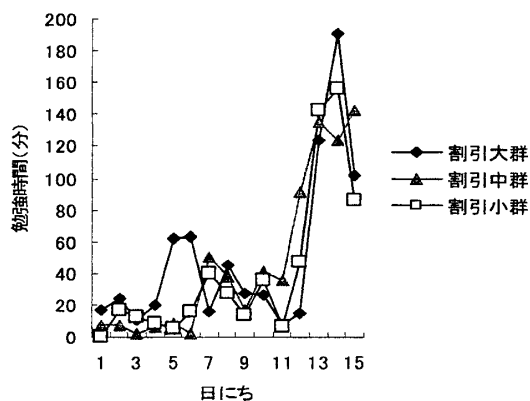


Fig. 1. 価値割引面積によって3分割した参加者の1日ごとの平均勉強時間。